

下野市議会議員報酬に関する市民アンケート結果（令和5年度分）

* 実施場所（日時） ①議会講演会（10/21） ②議会報告会・意見交換会（3/22）

* 参加人数 ①40名（市内21名，市外1名） ②13名（市内13名）

* 回答数 合計 29名

Q1 議員報酬増額見直しについてどう思われますか？

増額に賛成	11
現状維持	12
減額が必要	1
その他	5

【意見】

- ▶下野市政から判断して少し増額しても良いのではと思います。
- ▶議員報酬を増やし、議員数を減らす。若い議員が生まれやすくするため。
- ▶物価高の折、報酬値上げに賛成します。政務活動費の交付も反対ではなが、領収書の添付など、事務作業が増すので、議員報酬として入れて領収書等の提出はなしとして頂きたい。また、義務として議員活動報告を書き、毎月議会のサイトに掲載して頂きたい。皆様がどのような活動をされているのか見えません。
- ▶増額に反対はしませんが、金額については情報の提供が必要です。
 - ①議員の稼働日数（議会等の公務）、②議案の提出数、発言回数等、③活動状況、④ボーナスの支給など。議員を職業とした場合、年間普通に生活できる額は保証されるべきと感じます。年収として700万～800万円程度が妥当ではないでしょうか。全議員一律とし、議長、副議長は手当を支給し手当はボーナス反映しないこと。
- ▶栃木県内で同じ市議会議員でありながら差異があるのはおかしい。市の人口割合や収入源（工業団地等の差異）があるのは理解しますが県内でまとめて一括して考慮すべき。下野市は若い人は生活が成り立たないと思います。若い人は多く、老人は少なくとも良い。
- ▶現状では議員報酬は少なすぎる。以前から検討されているが民間格差が大きくなっている。
- ▶他市報酬額からみても下野市は妥当ではないかと思う。現状維持に賛成です。
- ▶大田原市、下野市を見ると人口が似ているところなので。現状維持で良いと思う。
- ▶厳しい報酬と思います。議案全てに反対の方もいる。凡人の私でもできそう。
- ▶報酬とは、労働や仕事などに対する謝礼などで、一律一定でなくても良い気がする。
- ▶人口に比例した報酬額を。
- ▶働いた時間に対する報酬にすべき。
- ▶議長の報酬額は高い。